

いつも JAL PassAge Corporate Plan をご利用いただきありがとうございます。



## 〈SAP Concur Fusion Exchange 2018〉に出展しました！

出張・経費管理クラウドシステムの提供で国内トップシェアの(株)コンカーが、9月に主催した「SAP Concur Fusion Exchange 2018」に、オフィシャルスポンサーとして出展いたしました。〈CPS〉(Corporate card PassAge Solutions)は、PassAgeと三菱UFJニコス、Mastercardが提携し展開する、「航空券精算データ」と「カード決済情報」を集約し、経費精算システムに連携し一元管理することができるサービスです。今回のイベントでは〈CPS〉のベネフィットと導入事例についてご紹介いたしました。〈CPS〉を導入することによる企業さまのベネフィットは、「経費データの網羅性」、「最小限のプロセス変更による導入」、「導入後のサポート」であり、これらによって「経費精算システム導入効果の最大化」を実現することができます。また、当日はスタッフ全員お揃いの赤いポロシャツを着用し、CPSのご案内をいたしました。たくさんのお客さまにお越しいただき、CPSのブースは大盛況でした！詳細については JAL のホームページに掲載予定ですので、ぜひご覧ください。

<http://www.jal.co.jp/passage/cps/>



三菱UFJニコス株式会社 白川秀幸  
日本航空株式会社 小野信二



## CPS 導入事例のご紹介

〈CPS〉を導入していただいた企業さまの事例をご紹介します。

企業さまからは、いろいろな場所に散らばっている経費データを経費精算システムに集約できる点、総額ではなく内訳でコストを把握し、「経費の見える化」が実現できる点を評価していただきました。〈CPS〉導入後、出張手配・精算関連業務の工数を4分の1削減できたとお声をいただいております。

### ■ 導入前の課題

- ① 航空券費用と出張先での経費の紐づけができず、経費精算業務が煩雑。
- ② 総務部門で出張者情報や航空券費用の集計業務があり、負荷が大きい。
- ③ 紙ベースでの経費精算・報告書作成に時間がかかる。

導入後

出張経費の見える化

★航空券データとカード利用データが随時連携され、一元管理が可能。

業務効率化

★出張者の精算業務、集計の負担が大幅に軽減。

利便性向上

★航空券代の支払先を一本化。付帯保険の充実により保険料も削減。

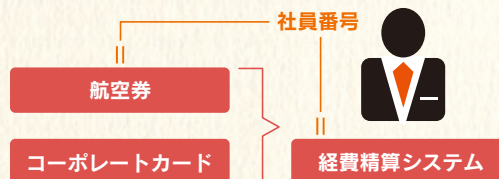


## CPS データ連携 Q&A

Q どのように社員ひとりひとりに、航空券データは連携されるの？

A 社員番号をもとに連携します。

航空券を発券する際に、付帯情報として「社員番号」を入力していただきます。経費精算システムに登録された社員番号と一致することで、出張者自身で経費の確認が可能になるため、入力ミスや漏れが減り、労力負担の軽減に繋がります。



株式会社 JAL マイレージバンク PassAge デスク  
TEL 03-5796-1170 E-mail [passage.info@jal.com](mailto:passage.info@jal.com)  
受付時間 9:30 ~ 12:00・13:00 ~ 18:00 (土・日・祝日・年末年始休)  
HP <http://www.jal.co.jp/passage>